



大勢の人たちで賑わう餅投げ



多くの人で賑わう出店ブース

## 道の駅「あぐりーむ昭和」のオープン6周年を祝うイベントが7月30日に開催されました。

道の駅「あぐりーむ昭和」のオープン6周年を祝うイベントが7月30日に開催されました。

イベント開催に際し、倉澤駅長は「皆さんの励ましをいただき、6周年を迎えることができました。今日はイベントを存分に楽しんでください」とあいさつ。イベントステージでは、フォークダンス、バルーンアートのほか、恒例の餅投げなど様々なアトラクションが行われ、村内外から訪れた多くの人たちで賑わいました。

また、とうもろこしまつりも併せて開催され、とうもろこしの収穫体験や、旬菜館とうもろこし部等によるとうもろこしの販売も行われました。

## 望郷ライン沿いでサルビア植え

昭和村村づくり協力委員会（小野英樹会長）では7月4日、村議会議員と協同で望郷ライン沿いの花壇にサルビアとマリーゴールドの苗、およそ4千本を植えました。

このサルビア植えは、平成15年より「花いっぱい運動」の一環として毎年行っているもの。現在の場所にサルビアを植えるのは、今年で12回目となります。

当日は、小雨のなかでの作業となりましたが、参加した村づくり協力委員と村議会議員らがおよそ2時間にわたって植え付けに汗を流しました。



綺麗に植えられた苗

また、同委員会と村議会議員はこのあと、昭和の森山荘に場所を移し意見交換会を開催しました。ここでは村政に関する施策について、建設的で活発な意見が交わされました。



花植えに汗を流す村づくり協力委員ら

## 青少年健全育成大会を開催

を開催

村教育委員会と村青少年問題協議会が主催する、青少年健全育成大会が7月12日、村公民館で開催されました。この大会は、青少年の健全育成を図るため毎年開催されているもの。大会には関係者などおよそ80名が出席。利根教育事務所社会教育主事の林崇夫氏を講師に招き、前向きに生きる子どもを育む家庭をテーマとした講演が行われました。

このほか、大河原小学校の荒木富美子校長による今の学校現場紹介や、昭和駐在所長の小川正人氏からも情報提供がありました。



講演を行う林崇夫氏



元気に出発した生徒たち

## 昭和中生がホームステイへ出発

昭和中学校生徒のアメリカ・オレゴン州へのホームステイ出発にあたり、壮行会が7月25日、村公民館で行われました。壮行会では、生徒たちがホームステイに向けての抱負を発表。「学ぶこと、楽しむことを区別しながら生活していきたい」



抱負を発表する生徒

や「本場のジャズを聴いてみたい」など、それぞれの思いを語りました。

また、8月7日の朝には、参加する12人の生徒がそれぞれの思いを胸に、「元気に村を出発しました」。

ホームステイに参加する生徒(敬称略)：  
倉沢響(根岸)、七五三木颯太(鎌沢)、見城杏実(中宿)、竹内由佳(宮貝戸)、木村ひまり(藤井)、新宮もも(赤城原第二)、宇津野愛深(宿)、関上飛奈(森下中)、中川ひかる(常木)、林千寿(吹張)、斉藤楓侑(常木)、吉澤菜夏(池原)

## ホタル観察会で交流を深める

東小学校PTAが主催するホタル観察会が7月8日、NPO法人清流の会(今楯憲雄理事長)の協力を得て川龍寺で開催され、東小学校の児童と東京都板橋区立志村第五小学校の児童が交流しました。

観察会には、かねてから交流のある志村第五小の児童22人と保護者、東小の児童およそ50人と保護者らが参加。同NPO法人副理事長の角田侃男さんから、ホタルの生態や特徴の説明を受けた後、村ふるさと大使の荒井宏二さん(東京都板橋区)が戦時中、川龍寺に疎開していた先輩たちの話しを聞き「当時お世話に

なったお礼に」と毎年ご厚意で送ってくださる具材を使い、PTA役員が調理したカレーを食べて腹ごしらえ。

食事の後、観察するときの注意点などを聞き、生越清水地区の沢へ移動。子どもたちは遊水池を飛び交うホタルの淡い光を見つけると歓声を上げていました。

観察会にあたり、今楯理事長は「観察会は17年目、志村第五小との交流は4回目となりました。たくさんの方々のお力添えがあつて毎年この観察会で交流することが出来ます。皆さんに感謝いたします」と話していました。



ホタルの説明を熱心に聞く子どもたち

### 角田勝美さんに

#### 瑞宝双光章

角田勝美さん(椽久保南部)が瑞宝双光章(教育功労)を受章されました。

角田さんは昭和22年に教職に就いて以来、平成2年3月に昭和村立大河原小学校長を退職するまで、永きにわたり、学校教育に大きな功績を残されました。また、退職されてからは村教育長として教育・文化の振興に大きく寄与されました。

今回の受章は、これらの功績が高く評価されたものです。角田さんは「皆さまのおかげで受章でき光栄です。今後も微力ながら頑張っていきたいです」と受章の喜びを語りました。



受章された角田勝美さん